

鈴木先生

ご無沙汰しております。

支援を卒業してからそろそろ2か月が経とうとしております。■■■はあと2週間ほどで卒業します。今は同級生達と残り少ない小学校生活を楽しく過ごしています。

■■■は3学期からはようやく安定して登校することができるようになりました。「学校行きたくない」の発言も無く、時間ギリギリですが自分で身支度をして家を出て行きます。今月からは塾にも通い始めました。私と説明会に行き、最終的に自分で行くと決めて通い始めました。

まだ支援を卒業してから2か月しか経っていませんが、5年生の2学期からのあの苦しい日々は本当に現実だったんだろうかと思うほどに我が家の生活は落ち着きを取り戻しました。ここに至るまで約1年間は本当に大変な日々でした。ペアレンツキャンプさんによようやくたどり着いて、鈴木先生のカウンセリングを受けながら親の対応を変えていき、少しずつ少しずつ変わっていったのだと思います。

私は■■■を1歳の頃から保育園に預けて仕事を続けていたので、効率的に育児、家事、仕事をこなすように努めてきました。このため■■■に対してメシテイが多かったのだと、今は思います。最初のカウンセリングの際にご指摘を受けたとおり、同級生とのトラブルはきっかけ

に過ぎず、小5という思春期の入口にいた■■■に対して、私の育て方がもう合わなくなってきていたので学校への行き渋りが長引いたのだと思っています。

自宅近くに公園があるのですが、支援を受けていた頃は毎週その公園で日暮れまで先生と話していました。暮れていく空を見ながら、先生からご指摘を受けたり、「■■■は今ものすごく成長していますよ」と言われたことを思い出します。

今でも■■■に対して言いたくなくなってしまうことがあるのですが、先生から教えていただいた事を思い出して、口出しをぐっと我慢したり、忘れ物や失敗しそうな場面でもあえて何もしないように努めています。そうしたほうが■■■のためになることがようやく分かってきました。

先日、学校で6年生が一人ずつ親に感謝の言葉を伝える行事がありました。■■■からは「いつも励ましてくれてありがとう」と言われました。とても嬉しく、先生から教えていただいた事が実を結んだんだな、とその時感じました。

鈴木先生、本当にお世話になりました。

ありがとうございました。

■■■